

1 単元名 意見を述べた文章を参考にして、説得力のある意見文を書こう
「ゆるやかにつながるインターネット」

2 目 標

- コミュニケーションの手段について興味をもち、身近な例に置き換えながら読もうとする。
(関心・意欲・態度)
- 目的や意図に応じて書く事柄を収集し、自分の考えが伝わるように文章を書くことができる。
(書くこと)
- 筆者の考えを理解し、それに対する自分の考えをもち、発表し合って広げたり深めたりすることができる。
(読むこと)
- 話し言葉と書き言葉や共通語と方言の、働きや違いに気付くことができる。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

国語への 関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
筆者の考えや例などに興味をもち、身近な例に置き換えながら読もうとしている。	「コミュニケーションの手段」としての、「電話」「手紙」のどちらかの立場をはっきりさせて、示された構成に沿って「意見文」を書いている。	筆者の考えを理解し、それに対する自分の考えをもち、発表し合って広げたり深めたりしている。	書き言葉と話し言葉の特徴の違いを理解している。

3 単元について

(1) 児童観 (平成*年*月*日実施 調査人数*人)

本学級の児童は、前単元の「見立てる 生き物は円柱形」において「意見文」「説得文」という種類の文章を学習している。しかし、事前のアンケートから、作文や日記は好きだが、事実と意見を区別して書いたり、自分の考えを正しく相手に伝えるために書いたりする活動を敬遠する児童が多い。そのため、苦手意識を強くもつ傾向が見られる。このような実態から、本単元では、自分の考えの根拠となる事実や具体例を引用しながら説得力のある意見文を書く力を付ける必要がある。

(2) 教材観

本単元は、「ゆるやかにつながるインターネット」を読み、筆者の考えを読み取った後に、自分の考えを話し合ったり、コミュニケーションの手段について自分の考えを書いたりするという構成となっている。「ゆるやかにつながるインターネット」は、インターネットの特徴、それによってもたらされるよい点や注意が必要な点について説明しながら、それを用いたコミュニケーションのあり方を読み手に考えさせるものである。さらに、事例を自分の身近な例にして置き換えることで、考えをより深めることもできるだけでなく、文章に説得力がある書き方になっている。自分の課題解決への手がかりとしてだけでなく、意見文の書き方の学習にも適した教材である。

(3) 指導観

指導に当たっては、「コミュニケーションの手段」としての、「電話」「手紙」のいずれかを選び、示された構成に沿ってワークシートをもとに「意見文」を書くことを、単元を貫く言語活動に位置付ける。そのために、第2次で「意見文」を書くための構成や表現方法を読み取るようにする。その際、自分の考えに自信のない児童が多いので、選んだコミュニケーション手段の「良い点」と「注意しなければならない点」などの材料収集と事例の引用を通して、自分の考えの明確さを確かめたり、広げたりできるようなワークシートを作成して、それぞれの考えが深められるようにしたい。さらに、友達からの助言をもらい推敲することで、自分の考えをよりよい表現で表すことができる能力の育成に迫っていきたい。

(4) 研究とのかかわり

意見文を書くために、自分の立場をはっきりさせて、自信をもって書き進められるようなワークシートを作成したい。

4 単元の指導計画(9時間扱い)

- 第1次 「ゆるやかにつながるインターネット」の読み、単元のゴールをつかむ。・・・1時間
- 第2次 「ゆるやかにつながるインターネット」の構成や表現の工夫を捉える。・・・3時間
- 第3次 「コミュニケーションの手段」としての、「電話」「手紙」のいずれかを選び、示された構成に沿ってワークシートをもとに「意見文」を書く。・・・5時間

時	主な学習活動	評価規準
1	「書き言葉と話し言葉」を読み、「手紙」か「電話」かを選び、「よい点」と「注意が必要な点」を身近な例をワークシートにまとめる。	「書き言葉と話し言葉」の特徴の違いを理解して意欲的に書こうとしている。 (国語への関心・意欲・態度)
② 3	「手紙」か「電話」どちらかの自分の立場をはっきりさせ、示された構成に沿って、自分の考えをまとめて書く。(本時)	自分の立場をはっきりさせて、構成を考えて書いている。 (書く能力)
4	清書をし自己評価をする。	事実と感想、意見などを区別すると共に、目的や意図に応じて書いている。(書く能力)
5	意見文を友達と読み合い、助言し合う。	友達からの助言を生かしながら、意見文の見直しをしている。 (読む能力)

5 本時の授業

意見文を書くことへの苦手意識を減らす指導の在り方

- (1) 目 標
自分の意見の明確さを確かめられるようなワークシートを活用することを通して、「自分の考えのまとめ」を意欲的に書くことができる。
- (2) 準備・資料
原稿用紙1/2, 構成用短冊, 付箋紙, ワークシート, 振り返りカード, 意見文のサンプル
- (3) 展 開

学習活動及び内容	支援と評価
<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>構成に沿って下書きをしよう。 ① 「自分の考えのまとめ」の部分を書こう。 ② 構成に沿って書き進めよう。</p> </div> <p>2 前時のワークシートをもとに意見文を書く。</p> <p>(1) 自分はどんな考えで意見文を書くのかを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(発表例)</p> <p>○手紙はあとに残るので思い出になります</p> <p>○手紙はじっくり考えて書くことができます。</p> <p>○手紙は何度でも読み返すことができます</p> <p>○電話は遠くの人と話すことができるのでいいと思いました。</p> <p>○電話はすぐに謝りたいときやすぐに伝えたいときに便利です。</p> <p style="text-align: right;">など</p> </div> <p>(2) はじめに「自分の考えのまとめ」を半分に分けた原稿用紙に書く。 ○④自分の考えのまとめ</p> <p>(3) 友達と考えを交流する。 ○ 自分の考えのまとめを読み合う。 ・考えがまとまっているか。 ・文章のねじれはないか。 ・文末表現は統一されているか。 ・誤字脱字はないか。</p> <p>(4) 構成に沿って書き進める。 ○① その手段について簡単な説明 ○② よい点とその例 ○③ 注意が必要な点とその例</p> <p>(5) 友達と考えを交流する。</p> <p>(6) 自分の考えのまとめを発表する。</p> <p>3 本時の学習の振り返りをする。</p> <p>4 次時の学習への見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>意見文をの下書きを完成しよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・4年生や5年2組の友達に伝える活動であることを確認し、相手意識を高められるようにする。 ・「手紙」か「電話」どちらかの立場をはっきりさせ、示された構成に沿って、自分の考えをまとめて意見文を書く、という最終目的への下書きであることを伝える。 ・前時を振り返ると共に、本時のめあてを確認し、今日の活動の見通しをもてるように助言する。 ・教科書の174ページを参考にして、書いた意見文を読み返し、自分の考えがより明確に伝わるように書くことを知らせるようにする。 ・自分の考えをより明確に表現するため、適切に文章を書いているかを意識して、確認・助言をする。 ・構成の①②③④のそれぞれを、原稿用紙半分程度にまとめることを伝える。 ・書き進められない児童には、書き方の参考になる意見文のサンプルを提示する。 ・「自分の考えのまとめ」の書き方でつまづくことが予想されるS男やK男には、内容のだいたいを聴き取り、簡単にまとめた文章を提示し支援する。 ・書き方で悩んでいる児童には、意見文の書き方ワークシートを配布して、安心して書けるように支援をする。 ・書き終えた児童には、読み直しをしたり、自己評価をしたり、友達と読み合うことをしたりすることを伝える。 ・伝えたいことや自分の考えがまとまっているかなどを評価し合い、さらにより意見文にするために、付箋紙に改善点などを書き合うことを伝える。 ・事実や感想、意見とを区別して書くことを伝える。 ・発表した児童の良かった点を具体的に賞賛し自信をもって発表できるように支援する。 ◎評 「自分の考えのまとめ」の下書きを、原稿用紙200字程度に書き進めようとしている。 (原稿用紙・評価カード) ・本時を振り返って、本時の学習でがんばったことや次時にがんばりたいことを記入するように助言する。 ・本時の児童のがんばりを賞賛することで、次時の学習に自信をもって取り組めるようにしたい。 ・次時は下書きを見直し、清書をすることを知らせ、さらに意欲を高めたい。